

日本史 B

1. 学習の到達目標

- ①我が国の歴史に対する関心・課題意識を高め、意欲的に追究しようとしている。
- ②歴史的事象から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ判断して、過程や結果を表現することができる
- ③遺跡・遺物や文字史料などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、効果的に活用することができる。
- ④原始・古代から近世についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて理解することができる。

2. 使用教科書および副教材

教科書：詳説日本史B 改訂版（山川出版社）

副教材：最新日本史図表（第一学習社）・日本史用語集（山川出版社）・日本史総合テスト（山川出版社）

3. 指導計画

学期	単元／学習のねらい	学習事項
前期前半	4月 第1章 日本文化のあけぼの ・日本文化はどのようにして始まり、大陸文化とどのようなつながりをもっているか考察する。 ・採集経済から生産経済への移行に基づく社会の変化を理解する。	・文化の始まり ・農耕社会の成立 ・古墳とヤマト政権
	5月 第2章 律令国家の成立 ・ヤマト政権の成立と律令国家の形成、古墳文化から仏教文化の発達について理解する。	・飛鳥の朝廷 ・律令国家への道
	6月 (6月中旬 前期中間考査)	・平城京の時代 ・天平文化 ・平安朝廷の形成
前期後半	7月	
	8月	
後期前半	9月 第3章 貴族文化と国風政治 ・律令体制の変容による平安時代の社会変化について考察する。 (9月下旬 前期期末考査)	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士
	10月	
後期後半	11月 第4章 中世社会の成立 ・鎌倉幕府の成立・伸展・衰退・武家文化の特徴について理解する。	・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化
	12月 第5章 武家社会の成長 ・建武の新政、室町幕府の成立と南北朝の動乱から戦国時代までの社会の変化や文化の特色について理解する。 (12月上旬 後期中間考査)	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場
後期後半	1月 第6章 幕藩体制の成立 ・織豊政権から幕藩体制の確立に至る過程や支配構造、近世初期の文化についてヨーロッパ勢力との接触・朝鮮出兵・鎖国など対外関係と関連付けて理解する。	・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造
	2月	
	3月 第7章 幕藩体制の展開 ・文治政治への転換と幕政改革、町人文化の形成について理解する。 (中旬 学年末考査)	・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化

4. 評価規準と方法

【評価規準】

- ・我が国の歴史に対する関心・課題意識を高め、意欲的に追究している。
- ・歴史的事象について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。
- ・遺跡・遺物や文字史料などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、効果的に活用している。
- ・原始・古代から近世についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて理解し、その知識を身につけている。

【評価方法】

定期考査、提出課題および提出状況、授業態度・姿勢